

特定非営利活動法人森里人ヘルシーリンク 設立趣旨書

1 趣 旨

近年の社会情勢は、価値観の多様化や人の繋がり希薄化が進み、より良い健康や生活にむけた一人ひとりが求める手段も多様化するとともに、不安や孤立感を抱くことも少なくないと思われまます。

この多様化、希薄化した社会生活を公的資源により支援するだけでなく、健康という視点から、新たな繋がりやマッチングで支えるために、公的社会資源を補完するインフォーマルな社会資源が今以上に必要と考えています。

また、高齢者や子供、障がい者という区分だけではなく、若者や働き盛り世代においても様々な健康課題を抱えていることから、枠にとらわれることなく、身近な地域に気軽に利用できる社会資源を作っていきたいと思ひます。

また、自然との共生をキーワードとして様々な分野とつなげる機能性を持った運営を目指します。

仕事や子育て、介護などで時間に追われていたり疲れがたまっていたり、人工的なものばかりに囲まれた生活により、身体的精神的に不健康な状態に陥っていきますが、本来、人は自然の中で生きてきたことから、こういう状態の時こそ、自然の中へ向かわせ、自然との触れ合いをもとめたりして、人は回復してきましました。

自然環境が人の健康に影響するように、人が自然環境を壊したり再生したりもできることから、農林水産業の分野にも目を向けて、幅広い視野で自然との共生を図っていきまます。

さらに、「人は食べたものからできている」と言われますが、生きる基本となる“食”は、個人が日々の食生活で実践できる自然との共生の取組みの一つと考え、その啓発を活動として行ひます。

従って、人と人がつながる健康づくり、自然と人がつながる健康づくりを提供できる社会資源を増やしていくことを実行目標に掲げまます。

以上のことを包括するために、2015年に国際会議「ワールドヘルスサミット」で発表された「Think globally, Act locally (地球規模で考え、地域から行動しよう)」及び「プラネタリーヘルス (人と地球・社会の健康の関係性をとらえる包括的なヘルスケアを意味する)」の実現に向かって行動することを基本理念として掲げまます。

すでに地域で健康づくりや介護予防活動、環境活動、農林業に携わってきた団体や個人がまずは、理解し合い繋がり、法人の基本理念を共有することで、ベクトルを合わせることができ、またそれぞれの立場で実行目標の実現に向けて協力し合い、更に活動の幅を広げたり深めたりできることが期待できることから、特定非営利活動法人格を取得することは、最適であるとの考えに至りました。

2 申請に至るまでの経過

令和6年6月 発起人会開催
令和6年8月 設立総会開催

令和6年8月19日

特定非営利活動法人森里人ヘルシーリンク

設立代表者 氏名 米山 民恵